

一般社団法人

2021 Nov

山梨県言語聴覚士会

Vol.50

News

Yamanashi



Anniversary Since 2001-2021

《目次》 P1…表紙 P2…県士会ニュース発刊の変遷と50号記念号に寄せて
P3…県士会ニュース発刊の変遷と初代発刊責任者より
P4～8…50号記念号発刊に寄せて
P9…第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会報告
P10…失語症者向け意思疎通支援事業報告 P11…理事会報告

県士会ニュース 50号記念号に寄せて

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史

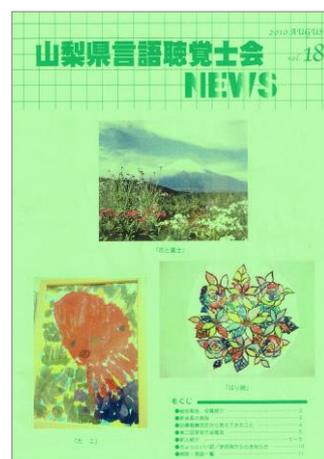
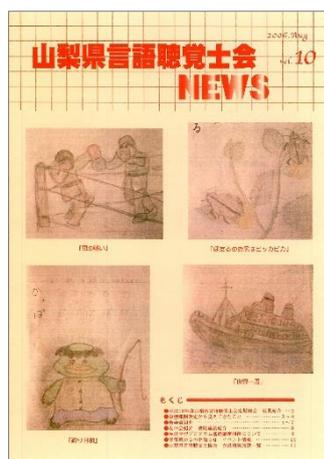


1999年に当会が設立され、会員への情報発信と情報共有を目的として2001年に広報部の事業として加わったのが県士会ニュース(以下、ニュース)の発行でした。これまでの20年間、50号の発行までニュースの企画・編集作業に関わっていただいた理事の先生方や会員の皆様に感謝申し上げます。これまで発行されたニュースからは当時の士会活動の一端が垣間見ることができ、県士会の歴史を振り返ることができます。2001年はパソコンもデジタルカメラも主流ではない時代に、広報部の方々はイラスト集と鋏、のりを片手に集い、イラストの切り貼りははじめページの構成から行っていました。その作業は笑い声が絶えることなく職場や年齢に関係なく交流を図りながら楽しく作業を行っている様子を思い出します。当時は表紙のみ印刷会社に依頼し、その他のページは部員が職場のコピー機を使用し作成していました。まさに当会が大切にしている「会員手作りの会」「顔の見える会」という表現がぴったりの活動を展開していただきました。

時代の変化に伴いニュースも変化をしてきました。2011年の20号からは表紙が白黒に変更され、2014年度より県立図書館での閲覧が可能となりました。また、2017年度には国立国会図書館から要請があり、図書館サービスの根幹となる貴重な資料の一つとして毎号献本されております。

今のように便利な時代ではなく、仲間が知恵を持ち寄り工夫して作成してきたニュースの歴史を再確認し、古き良き時代の功績が現在に繋がっている事実を大変嬉しく思います。これからの未来に向かってさらに充実したニュースが発行されることを期待しています。

県士会 NEWS の変遷



2001年

記念すべき県士会ニュース
第1号発行！
会員施設20施設へ送付

2006年

2号/年ペースで発行し、
第10号発行！巻末には、
清水先生による富士山の
紹介もありました。

2010年

カラー表紙・患者様からの
作品紹介が18号で終了。
合計75作品が表紙を彩り
ました。

県士会ニュース・初号担当責任者より

竜王リハビリテーション病院 清水 正仁先生

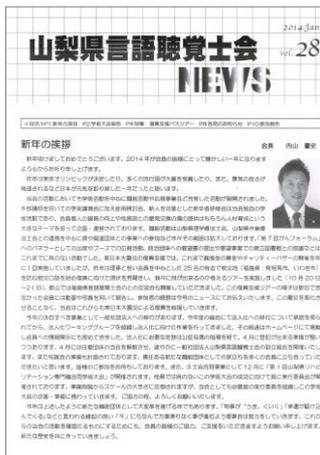
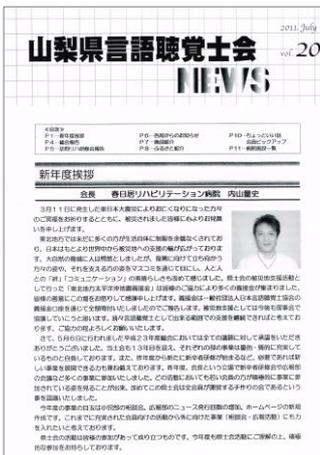


山梨県言語聴覚士会 NEWS 第 50 号記念号の発刊誠におめでとうございます。原稿依頼を頂き光栄に存じます。

第 1 号の記憶を巡ると、平成 13 年(2001 年)7 月 16 日創刊になります。広報局の責任者としてスタッフと 2 人で原稿依頼・紙面構成・編集に関わらせて頂きました。医療 18 病院・教育関係 2 施設、会員数 40 名程度の団体だったと思います。平成 11 年(1999 年)4 月の国家資格制度の誕生を機に、全国に先がけて山梨県言語聴覚士会を発足し創刊に至った事を覚えております。県士会ニュースの主旨として、言語聴覚障害の社会的認知・会員の資質向上・情報の共有・職域の社会貢献等、市町村保健部にも配布し紙面を通じて社会参画を広げる事をコンセプトに発刊しました。現在では社団法人化・組織の充実等、加盟病院・施設 39、会員数 136 名(令和 2 年度登録)の全国でも有数の職能団体に発展した事は嬉しい限りです。本会の尚一層の飛躍を期待致します。

知っ得！！

当会のニュースレターですが、第 1 号当初部員さんが手作業では切り貼りしていたものの、表紙は印刷業者に依頼していました。当会は、20 年前より“協和印刷様”にお願いしています。長い間お世話になっていますが、いつも変わらず確実な納期で、優しい笑顔で接客してくださいませ。協和印刷様、今後ともよろしくお願いいたします。



2011 年

20 号より県士会ニュースの用紙の種類がコート紙へ変更。より滑らかな手触りで高級感あるニュースへ。

2014 年 & 2017 年

28 号より山梨県立図書館、37 号より国立国会図書館へ献本することが決定。

2021 年

記念すべき 50 号が発刊！これからも未来に向けて、私たちの活動を発信していきます！

2003年 News Vol.2 ~VOL.6

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
河西 祐子



県士会ニュースは、2001年7月に創刊されて以来、今号で50号記念を迎えました。

私は、第2号から第6号まで3年間、広報部員として企画や編集に携わりました。当時は部員の数も少なく、和気藹々とした雰囲気、手探り、手作りで作り上げていくという作業でした。甲州ケア・ホームの部屋をお借りし、数人で集まっては、「皆さんが興味・関心のある話題・情報は？」と話し合ったり、ページ構成や全体のバランスを打ち合わせしたりしたことを思い出します。そして、施設ごとにページを分担し、原稿依頼や編集を行っていました。

当時の内容を振り返ってみると、病院・施設紹介、ふるさと紹介など会員間のコミュニケーションツールとしての記事の他に、県外出身のSTが多かったことから「甲州方言講座」や「山梨ご当地クイズ」、出身地別のST数など今では考えられないようなユニークな記事も掲載していました。パソコン一つで作業が完結する現在とは異なり、絵カードもイラスト集から手作りする時代でしたから、図や挿絵をコピーして切り貼りしていたのを思い出します。

同じ目的に向かって作業を進めることで、相互の信頼や団結が生まれ、プライベートでも集まるようになり、定期的に反省会と称した飲み会も開いていました。他施設の先生方との職場の垣根を越えた交流は楽しく、また情報交換もでき、学びの多かった3年間でした。その後、事務局を長く担当させていただいていますが、県士会ニュース作成が私の県士会活動の第1歩だったと思いを返しています。

発刊から20年を経て、県士会ニュースは会員間の情報共有だけではなく、県内外の関連団体や地域の方々へ当会の方針や事業内容を紹介するツールとしての役割も大きくなっています。会報編集部の皆様や会員の皆様のご協力を得て、さらに充実した紙面となりますようお願いしております。



「ふるさと紹介」
～三重県 尾鷲市編～

尾鷲市リハビリテーション科 山本 史史

私の故郷三重県の南端にある尾鷲(おし)です。尾鷲町、尾鷲町立病院に隣り、西は大山山脈に接する。東は太平洋(伊勢湾)に臨んでいます。雄大な自然と歴史によって、古くからの観光の地であり、温泉地としても「尾鷲」の名で全国的に有名です。

一見、尾鷲は山がちな地形で、交通の便が良くない。尾鷲市は尾鷲市に隣接していましたが、私も尾鷲市、尾鷲市が中心地として活動しています。尾鷲市は尾鷲市に隣接していましたが、私も尾鷲市、尾鷲市が中心地として活動しています。

尾鷲市は尾鷲市に隣接していましたが、私も尾鷲市、尾鷲市が中心地として活動しています。

山梨県ST施設 MAP

山梨県内の各自治体とST施設を地図上で示したMAP。各施設の詳細情報は以下の表に記載されています。

施設名	〒	TEL	FAX
山梨県立中央病院	400-0001	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立大宮病院	400-0002	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立八雲病院	400-0003	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0004	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0005	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0006	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0007	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0008	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0009	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0010	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0011	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0012	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0013	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0014	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0015	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0016	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0017	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0018	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0019	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0020	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0021	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0022	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0023	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0024	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0025	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0026	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0027	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0028	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0029	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0030	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0031	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0032	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0033	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0034	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0035	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0036	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0037	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0038	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0039	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0040	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0041	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0042	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0043	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0044	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0045	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0046	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0047	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0048	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0049	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0050	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0051	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0052	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0053	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0054	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0055	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0056	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0057	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0058	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0059	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0060	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0061	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0062	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0063	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0064	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0065	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0066	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0067	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0068	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0069	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0070	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0071	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0072	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0073	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0074	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0075	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0076	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0077	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0078	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0079	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0080	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0081	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0082	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0083	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0084	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0085	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0086	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0087	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0088	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0089	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0090	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0091	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0092	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0093	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0094	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0095	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0096	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立南都病院	400-0097	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立西都病院	400-0098	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立東都病院	400-0099	055-251-1111	055-251-1111
山梨県立北都病院	400-0100	055-251-1111	055-251-1111

山梨ご当地クイズ

①山梨県民には何人？
②山梨県産品に属しているものの「種をまく」の正しい読み方は？
③山梨県産品「白濁酒」にある糖度は「酒」の糖度は？
④山梨県産品「白濁酒」にある糖度は「酒」の糖度は？

写真：2003年度広報部員の反省会。他病院のSTが集まっているとは思えない仲睦まじい様子。
資料左：News4号より、ふるさと紹介第1回目は内山会長の故郷“三重県”でした。
資料右：News6号より、“甲州方言講座”など山梨の情報が盛り沢山。ITが普及しておらず、お世話になったSTも多い。

2003 年 News Vol.3～Vol.7



南砺市訪問看護ステーション 羽柴 尚子



この度は山梨県言語聴覚士会 NEWS 第 50 号発行おめでとうございます。
第 50 号が発行されると聞き、一時期会報誌に携わった者としては感慨深い思いが
いたしました。

私が広報部員として活動していたのは春日居リハビリテーション病院（現 春日居サイバーナイフ・リ
ハビリ病院）に勤務していた頃で、2003 年発行 Vol.3 から数号、編集に参加していました。当時の山
梨県言語聴覚士会会員は県外出身者が多く、会員紹介や活動報告以外に会員動向や役立つ情報を掲載し
たいとの思いから、会員動向のアンケート結果や方言講座等も掲載したことを覚えています。ただ、現在
ほどのパソコンソフトもスキルもなく、パソコン上ですべての編集作業が出来なかったため、通常勤務
後に広報部員が記事や写真・絵を持ち寄り、紙面上で配置を構成していました。今では考えられないこと
ですが、会員同士の交流の機会となっていたこともあり、編集で大変だったことも懐かしい思い出です。

今後も活躍されている山梨県言語聴覚士会の活動等、HP や会報誌を通して拝見させていただくことを楽
しみにしております。この 50 号を契機とし、さらなる飛躍を遂げられることお祈りしております。

2007 年 News Vol.12～Vol13



宇都宮記念病院 赤津 良一



県士会ニュース 50 号発行おめでとうございます。
これもひとえに山梨県言語聴覚士会役員諸先生方の ST 育成に対する情熱とご尽力の
賜物と拝察し、心よりお祝い申し上げます。

私は 2004 年度（平成 16 年度）から言語聴覚士として山梨でキャリアをスタートしました。8 年間
県士会活動に参加し、そのうちの 2 年間は県士会理事を務めさせていただきました。当時を振り返って、
県士会に対する今の私の思うことを少しばかり書かせていただきます。

私が新人の頃は、若い ST が急激に増え始めたことで教育や育成が追い付いていない現状がありまし
た。これに対し県士会の先生方が一丸となって教育・育成に関する企画・運営をし、県内の ST の質を上
げることを目標に活動されていました。県士会員には講演会や研修会、症例検討会といった学びの場が
用意され、他施設の ST と意見を交わし議論することができました。このような場が当然のようにあっ
たことは非常に恵まれた環境なのだと、山梨を離れて気づき、先生方の熱意に改めて感謝しました。

このように熱意溢れる先生方に学んだことが、ST として仕事をしていく上での私の基礎を作ってくれ
ました。新人から 8 年間山梨で過ごしたことが、県士会で仕事をしたことは私の自慢できる財産です。

県士会ニュースが 50 号の節目に到達したことは山梨を離れた今でも感慨深いものがあります。これ
からも 100 号、200 号と続き、山梨県言語聴覚士会が益々発展することを祈念しております。

2008年 News Vol.14～Vol.15



介護老人保健施設なでしこ 井村 舞先生



山梨県言語聴覚士会ニュース 50号記念を心よりお慶び申し上げます。会員当時は、ニュースレターで先生方の地元の紹介や臨床エピソードをお聞きする記事がとても好きでした。先生方のお人柄が伝わったり、そっと勇気をいただいたり、普段お話しすることのない先生方を身近に感じられるあたたかい一面がニュースレターにありました。

私が入会したのは平成17年で、地元愛知県の養成校を卒業したばかりの社会人一年目でした。山梨リハビリテーション病院に就職のご縁をいただき、6年勤めました。県士会での一番の思い出は、一年目の最初にさせていただいた症例発表です。漏れの多かった私の発表がきっかけで、新人STのための評価項目マニュアルが作られたのです。手厚いご指導のある本当にありがたい環境でした。当時の資料は今でも大切に保管しています。直属の上司や同僚、先輩、同期など、思い出されるのは今でも尊敬している方ばかりで、良き出会いに恵まれていたと感謝しています。現在は岐阜県の介護老人保健施設でSTを続けており、教えていただいたノウハウを応用しながら日々自己研鑽に努めています。

今回は、初心を思い出す貴重な機会をくださりありがとうございました。山梨県言語聴覚士会の益々のご発展、会員の皆様のさらなるご活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

2010年 News Vol.16～Vol.17



新東京病院 志賀 温子先生



山梨県言語聴覚士会の皆様、県士会ニュース50号記念号の発行おめでとうございます。

ホームページでバックナンバーを読ませていただき、毎回充実した内容で、山梨県言語聴覚士会の活発さが伝わってきました。

私は山梨県にいた当時、県士会ニュースの「ちょっといい話」を読むのが好きでした。先輩方の患者さんとの向き合い方を学ぶことができ、自分を振り返る機会にもなり、毎回楽しみにしていたのを思い出します。早いもので、山梨県から千葉県へ職場を移してから8年が経ちました。新人STとして山梨県で働き始め、基礎をしっかりと学べたことは、とても幸運であったと感じております。症例検討会や様々な研修会、学術大会で発表できたことも、とても良い経験となっています。県士会員同士の距離が近く、すぐに相談できる環境はとても贅沢だったと、山梨県を離れて気づきました。

現在、私は千葉県言語聴覚士会の学術局に所属しております。コロナ禍で大変なことは多いですが、オンライン研修会を開催するようになり、画面越しに山梨県で一緒に働いていた方々の懐かしいお顔を拝見できることもあり、良いこともあったなと感じております。千葉県以外の方の参加も随時受け付けておりますので、ご興味ある方はぜひご参加下さい。山梨県言語聴覚士会の皆様と、今後も交流できたらいいなと思っています。忙しく大変な状況は続くと思われませんが、お互いに頑張っていきましょう。

2011年 News Vol.20～Vol.22



福井県こども療育センター 園山 貴也先生



山梨県言語聴覚士会の皆様、初めましてこんにちは！私は、福井県こども療育センターで勤務し、福井県言語聴覚士会 災害対策委員長を務めております、園山貴也と申します。まず、50回ニュース発行おめでとうございます。保坂元会長、内山会長をはじめ、多くの県士会会員皆様の団結力の賜だと思えます。この度、ご縁がありましてこのコーナーの執筆を承りました。

そのご縁というのは、15年前の専門学校時代の臨床実習で、当時春日居リハビリテーション病院（現：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）にお世話になり、そのまま、就職という流れになり、4年勤めました。その4年の中で、新人研修会での発表や、学術大会の企画、発表、広報部の活動と濃密な経験をさせて頂きました。広報部では、素敵な先輩方、仲間にも恵まれ、良い雰囲気の中経験の浅い私も自由に企画の提案が出来たかと思えます。当時、地元紹介や、おススメの本の紹介、施設紹介など様々な企画がありました。山梨県では、県外出身STが多いという特徴があり、特に地元紹介は関心が高いコーナーであったと思います。また、ベテランの先生方のおススメの本などは経験の浅い自分にとって貴重な情報源となりました。施設紹介では特に、「これはメモと呼べるのか!？」の記事が非常に印象的で、想い出に残っています。（私が書いた）。最後にコロナ禍ですが、皆様に明るいニュースをお届けできるよう共に頑張っていきたいと思います！

2012年 News Vol.23～Vol.25



大浜第二病院 比嘉 梓先生



県士会ニュースレター50号おめでとうございます！私がニュースレター刊行に携わっていたのは、山梨で勤務していた4年間のうち2年間です。当時は原稿執筆依頼をさせて頂くこともありましたが、皆様お忙しい中快諾くださりとても助かっていました。その経験や恩もあり、今回は私で役に立てるのであればと受けさせて頂きました。

ニュースレターでは色々な思い出がありますが、まず思い出すのは業務後の「おやつタイム」もとい「反省会」です。各病院から集まった先生方と和気あいあいと話す時間は新鮮で刺激的でした。プライベートなことから患者様の相談、関係のない話題から突然企画を思いつくなど不思議で楽しい時間でした。コロナ禍の今となっては更に特別な思い出です。

ニュースレターを作り上げるためには、企画から始まり原稿依頼者を選定し依頼、校正作業、印刷製本など時間も労力も必要です。大変な作業ではありましたが、皆でニュースレターを完成させるという一つの目標に向かって進み、冊子となって手元に届く達成感もありました。また、一読者としては、県外出身の先生方が地元を紹介するコーナーが好きでした。50号まで続くということは県士会の皆様に愛され求められているからこそだと思います。

末筆ながら、山梨県言語聴覚士会の益々のご活躍をお祈り申し上げます。ニュースレターがこれから50号100号と続いていくことを願っています。

2018年 News Vol.41～現在



石和共立病院 原田 史佳



県士会ニュース 50 号おめでとうございます。微力ではありますが、ニュースの制作に関わらせて頂いていることを嬉しく思います。

どのような記事を書けるのか検討したり、原稿依頼したり、見た目をきれいに読みやすいように校正作業をしたり、各施設病院へ、そして全国へ配送したりと、部長を中心に良いものが皆様の元へ届くよう頑張っております。普段の仕事においても、活かされているように思いました。職場での書類作成や文書添削、内容だけではなく配置やデザイン等も気になるようになりました。そして、自宅や職場に届く新聞や冊子なども、作る側にも関わる事ができたからこそ、しっかりと目を通すようになりました。自分の手元にその文章が届くまでには、多くの方が関わっていることを改めて知ることができたからです。皆様の元にニュースが届くことで、山梨県の言語聴覚士の一人として、決してひとりではなく繋がりを感じながら、また明日も頑張っていこうと思ってくれたら幸いです。これからも、ニュースの巻数がさらに増えていくことを願っています。



写真：原田 ST 担当患者様より、当会ニュースレター 50 号記念に作品データを寄贈して頂きました。

2018年 News Vol.41～現在



甲府城南病院 桂川 謙祐



私は、県士会の理事として、現在の県士会ニュースを企画・編集をしております。この度、県士会ニュースが 50 号を迎え、このような企画を致しました。本来は 100 号記念としたいところでしたが、100 号を刊行するのは、西暦 2040 年頃となり、その頃はどのような未来になっているのか分からず、ひとまず 50 号を記念号として刊行することを理事会で決定しました。当初は、2、3 ページの予定でしたが、特大特集号としてこれまで県士会ニュースに携わってこられた歴代の先輩 ST の先生方からご執筆いただくこととなりました。ご多用の中、ご執筆いただきました先生方、本当にありがとうございました。県士会ニュース 1 号から 49 号までの歴史を改めて振り返ってみて、本当に多くの方々がかつて支えて来られたこと、そして会員手作りで県士会ニュースを刊行してきたことを、身をもって感じました。県士会ニュースは、初号刊行の頃とは変わり、今では部員がパソコンを使って、企画・原稿依頼・原稿収集・校正・入稿までを行っています。コロナ禍においても、県士会活動の発信を絶やすことなく、校正作業については部員の先生方がそれぞれパソコンの前に座り、オンラインで作業を行うなど、時代は本当に変化したように感じます。そのような変化がありながらも、会員の方々へより有益な情報を届けたい、山梨県言語聴覚士会の素晴らしい活動を全国に発信したいという思いは、今も 20 年前も変わりません。これからも県士会ニュース発刊のため、会員の方々のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

山梨県内でも地域で暮らす失語症のある方への 意思疎通支援事業がスタート

2020年度（令和2年度）
山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

受講者募集

想いをつなく、
生きるを支える。

令和3年度
山梨県失語症者向け
意思疎通支援者
養成講習会

Coming

— 想いをつなく、生きるを支える。 —

山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

令和2年 9月12日 16名スタート
 令和3年 3月支援者 16名修了 14名登録 ※上部集合写真
 令和3年 6月26日 10名スタート ※下部集合写真
 令和4年 4月支援者派遣事業スタート予定



令和3年度登録者14名（写真上段）
 令和3年度支援者10名（写真下段）



令和3年度
 第二回山梨県失語症者向け意思疎通支援者
 養成講習会 開講式



コミュニケーション
 支援
 病院通院
 同行支援

※支援者派遣の実際のイメージ

失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会

委員長：赤池 三紀子

委員：河西 祐子 吉澤 由香 池神多加子
 市川 奈弥 舟越あゆみ 坂井 李菜

第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 開催報告

実行委員 赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）

令和3年7月4日（日）、小林伸一大会長（山梨県理学療法士会長）のもと第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会が開催されました。「進取～果敢に挑む新時代のリハビリテーション～」をテーマに290名（PT144名、OT87名、ST59名）が参加されました。

本大会は令和元年2月より準備を開始し、令和2年12月開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響を受け開催延期となり、準備開始から約2年半の今年度、感染状況を見据えた環境下にてオンライン形式で開催されました。

特別講演では石川朗先生（神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域教授）、森岡周先生（畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター教授）によるご講演をはじめ、教育講演では佐藤吉冲先生（甲州リハビリテーション病院院長）、さらに県内で活躍されますPT、OT、STよりご講演を頂きました。一般演題では20演題の発表があり、日々の臨床や研究の成果についてディスカッションが行われました。ご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。

最後となりますが、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の設立と発展、そして本大会の成功に向けてご尽力頂きました小林伸一大会長が大会前にご逝去されました。「三士会がまとまって垣根を越えて手を携え取り込んでいこう」という小林伸一大会長の意思を汲み、3士会が一致団結し大会を成功裏に終えることが出来ました。ご協力ありがとうございました。



- 上段 左：特別講演Ⅰをご講演される石川朗先生、中：特別講演Ⅱをご講演される森岡周先生
右：教育講演で多職種向けに失語症について講義される当会の元木理事
- 下段 左：大会長講演を代理講演されたリハビリテーション専門職団体協議会会長の磯野賢先生
右：オンライン上に並ぶST/PT/OTの実行委員。コロナ禍のなか、約2年半に渡りオンライン上での会議が数多く開催された

第1回 理事会議事録

日時：令和3年4月9日(金) 19時01分～20時18分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、高橋、中嶋、舟越、山田、河西
欠席理事：元木、吉澤

<協議事項>

1. 今年度の学術講演会の講師について検討し承認された。
2. 症例検討会の発表者は佐藤綾美 ST(甲州リハ)、志摩美月 ST(春日居)、佐藤享貴 ST(甲府城南)に決定した。
3. 基礎講座を4講座、小児領域勉強会を2回実施することが承認された。
4. 県士会電子公印を高橋理事が作成することとなった。

<活動報告>

1. 山梨県リハビリテーション病院・協議会 言語聴覚士部会 活動支援金 報告書の提出が報告された。
2. 賛助会員へ県士会ニュース用の令和3年度広告画像の提出依頼を行ったことが報告された。

第2回 理事会議事録

日時：令和3年5月28日(金) 19時00分～19時57分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、高橋、中嶋、舟越、山田、吉澤、河西
欠席理事：元木

<協議事項>

1. 第1回学術講演会は、大槻美佳准教授を講師(北海道大学大学院保健科学研究科)に「言語機能局在と失語症の診方(仮)」のテーマでWeb開催すること、参加費は無料とすることが決定した。
2. 基礎講座の開催が以下の通り決定した。
 - ・第1回：令和3年7月30日「臨床業務のあり方・進め方」(講師：佐々木理事)
 - ・第2回：令和3年9月17日「言語聴覚療法の動向」(講師：赤池洋副会長)
3. 今年度の基礎講座は、ZoomによるWeb開催とし、県外参加者も含め、無料とすることが決定した。
4. その他の2講座については、認定言語聴覚士の理事が講師登録を行い、開催することが決定した。
5. 令和3年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関するアンケート調査は、6月1日に事務局より会員所属病院・施設へ送信することが承認された。
6. 県立図書館への寄贈図書が①見える！わかる！摂食嚥下のすべて(上羽留美) ②脳卒中・神経難病・がん患者の「言葉をつくる・声を出す」を助ける！コミュニケーションサポートブック(川上途行・和田彩子・岡阿沙子 編)の2冊に決定した。

<報告事項>

1. 法人県民税・法人市民税の支払い、会費納入状況について報告された。
2. 第2回甲信越在宅医療推進フォーラム実行委員会、山梨県民間病院協会令和3年度定時社員総会について報告された。
3. ニュースレター49号原稿執筆者との調整、HP更新状況について報告された。
4. 令和3年度第12回訪問リハ・地域リーダー会議について報告された。
5. 令和3年度失語症者向け意思疎通支援者養成講習会に関して、チラシ送付、申込者選考の実施、令和2年度意思疎通支援者アンケートのまとめについて報告された。

第3回 理事会議事録

日時：令和3年6月18日(金) 19時00分～20時18分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 令和3年度介護現場人材育成研修の講師は、赤池(洋)副会長、市川理事に決定した。
2. 第2回症例検討会を8月24日に開催することが決定した。
3. 令和3年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査結果は、県士会HPトップページにバナーを設置することとなった。
4. 認知症サポーター養成講座開催は、新人研修プログラムに組み込み、8月～9月で調整することとなった。

<報告事項>

1. やまなし地域リハ・ケアの推進を考える会、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会理事会、第3回甲信在宅医療推進フォーラム実行委員会について報告された。
2. 賛助会員への年会費納入依頼書の発送、県立高等学校へのリーフレット発送、県立図書館への寄贈図書の購入について報告された。
3. 第1回災害時安否確認システム予行演習を実施したことが報告された。

第4回 理事会議事録

日時：令和3年7月16日(金) 19時00分～20時46分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、高橋、舟越、元木、吉澤、河西
欠席理事：中嶋、山田

<協議事項>

1. 第2回学術講演会は、11月26日に稲本陽子先生(藤田医科大学)を講師として開催することが決定した。
2. 県士会ニュース50号は記念号であり、12ページ全面カラー発行とすることが決定し、内容の検討を行った。

<報告事項>

1. 一般社団法人日本言語聴覚士協会 春期都道府県士会会長会議、やまなし地域リハ・ケアの推進を考える会への出席が報告された。
2. 令和3年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関するアンケート調査結果が報告された。
3. 第1回・第2回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の実施について報告された。
4. 第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の開催について報告された。

開催方法：オンライン会議

議長：内山量史

書記：坂井李菜、高橋里実、佐藤享貴

議事録作成：河西祐子

編集後記

朝晩すっかり涼しくなり、秋の深まりを感じる今日この頃です。早いものでコロナ禍の影響で日々の生活が180度変わってからもうすぐ2年が経とうとしています。今年は、東京でオリンピック、パラリンピックが開催されるなど、一大イベントもありました。

おうち時間が増えたので、「テレビで観戦する機会も増え、特にパラリンピックでは、選手のバックグラウンドや競技にかける思いも紹介されていて、感銘を受けました。

今号は、第50号記念号となり、特別編集となっております。表紙も部員皆で考案致しました。秋の夜長にぜひじっくりとご覧ください。

(甲府城南病院 河村 有美)

病院で使われている介護食を、
ご家庭にお届けしています。 **在宅** 通信販売

高栄養・やわらかい
飲み込みやすい
をサポート

飲むこと、飲み込むことが苦手な方に
飲食時によくむせる方に 食の細い方に

「はつらつ食品」カタログにはこんな商品が掲載されています
・食べ物や飲み物に混ぜるだけで簡単にトロミをつけられるトロミ調整食品
・むせにくいゼリータイプの飲料
・食べやすく、飲み込みやすくなった食品
・飲んだりチューブを用いて摂取出来るバランス栄養食品

病歴別に
たんぱく制限用、
カロリー制限用
カタログも
ご用意しております

カタログのご請求・お問い合わせは
株式会社ヘルシーネットワーク TEL 0120-236-977
〒191-0024 東京都日野市万寿寺1-34-3 FAX 0120-478-433
受付時間 月～土 午前9:00～午後5:00 (日・祝日は休業日となります)
インターネット ヘルシーネットワーク 検索
https://healthynetwork.co.jp

山梨リオン補聴器センターは
『なかだて補聴器センター』に店名変更しました

●認定補聴器技能者在籍
●補聴器の無料体験
●支援法補聴器取り扱い

写真：シグニア補聴器 スタイルレット 充電式

認定補聴器専門店
なかだて補聴器センター

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

ゼリー食の素(酵素入り)

スベラカーゼ
酵素でベタツキ分解

主食・主菜・副菜・汁物・デザート・飲料…
お粥はもちろん、すべての食事に

OMGファミリープロダクト

スベラカーゼのレシピ
スベラカーゼ冷凍/解凍方法
皆様の疑問にお答えする
情報をお届けしています!

foodcare JAPAN TEL: 042-700-0555 www.food-care.co.jp

誤嚥リスクの低減

新しい背上げ
ハイバックサポート機能

ASPINO
アスピノ

医療・介護ベッドメーカー
株式会社プラッツ
http://www.platz-ltd.co.jp/

■関東支店 / 関東ショールーム
〒105-0014 東京都港区芝2-16-9 芝YSビル3F
TEL.03-5427-8033 FAX.03-5427-8031
■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。

株式会社アトスメディカルジャパン
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

Atos
Breathing - Speaking - Living

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal

Pepti-sal(ペプチサル)とは、「Peptide(ペプチド)」+「Saliva(唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された低刺激性のオーラルケア製品です。デリケートなお口をやさしくケアし、お口の環境を健康に保ちます。要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売

T&K ティーアンドケー株式会社 ☎0120-555-350 www.comfort-tk.co.jp

morinaga

消費者庁許可
えん下菌産生用
とろみ調整用食品

売上 No.1

2018年度とろみ調整区分
(株)シード・プランニング調べ

つるりんこ
Quickly

飲み込みにくいとを感じる方が、
安心しておいしく水分や栄養を摂取するために

0120-52-0050
受付時間：平日 9:30 ~ 17:00
(土日祝日・年末年始・5/1除く)

森永乳業グループ病態栄養部門
株式会社クリニコ

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会
<発行人> 内山量史
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP管理部

石和共立病院 原田史佳
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 志摩美月
甲府城南病院 秋山仁哉・桂川謙祐
河村有美
湯村温泉病院 高木建汰
山梨大学医学部附属病院 赤池洋

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
<発行日> 2021年11月1日 第50刊